

# 日本大学芸術学部



## 校友会報

令和元年6月発行  
2019年春季号

102

# C O N T E N T S

|                     |         |
|---------------------|---------|
| ホームカミングデー.....      | 2       |
| 告知.....             | 2       |
| 平成 31 年度総会のご案内..... | 2       |
| 第 13 回日藝賞決定.....    | 4       |
| 皆さん今日は！.....        | 5       |
| 日藝の卒博開催.....        | 7       |
| 鹿児島江古田会総会.....      | 8       |
| 石川江古田会総会.....       | 8 ~ 9   |
| 愛知江古田会総会.....       | 9 ~ 10  |
| 岩手江古田会総会.....       | 10 ~ 11 |
| 台湾江古田校友会総会.....     | 11      |
| 秋田江古田会総会.....       | 12      |
| 江古田会各支部連絡表.....     | 12      |
| 学部ニュース.....         | 13      |
| 学科ニュース.....         | 13 ~ 18 |
| 校友会からのお知らせ.....     | 19      |
| 編集後記.....           | 19      |

## ■総会・ホームカミングデー デザイン

(株)スタジオ・マイ▶1973年設立。03-5999-8611  
ビジュアルから立体まで、グラフィックデザイン  
全般を担う。

(株)スピーチ・バルーン▶1985年、スタジオ・マ  
イの出版部門として発足。03-5999-6911

5月1日にリニューアルオープンした「横手市増田  
まんが美術館」の内装のデザインをさせて頂きま  
した。また、2020年に開館20周年を迎える「石ノ森  
章太郎ふるさと記念館」第60回特別企画展【サイ  
ボーグ009 ナゾトキ MUSEUM】の企画展示を  
しました。大人も子どもも楽しめる、参加型の展  
覧会です。謎が解けたらオリジナルグッズをプレ  
ゼント！

会期：2019年4月27日～8月25日

# 7月13日土

記念品進呈  
いたします

## ホームカミングデー (参加自由、無料)

共催●芸術学部、芸術学部校友会

### 14:00

## A棟を中心とした キャンパス見学 (予定)

## 校友会総会

### 17:00 総会

- |           |         |         |
|-----------|---------|---------|
| <b>議題</b> | 1. 会務報告 | 4. 推薦校友 |
|           | 2. 会計報告 | 5. その他  |
|           | 3. 予算審議 |         |

総会終了後  
ただちに

## 懇親会

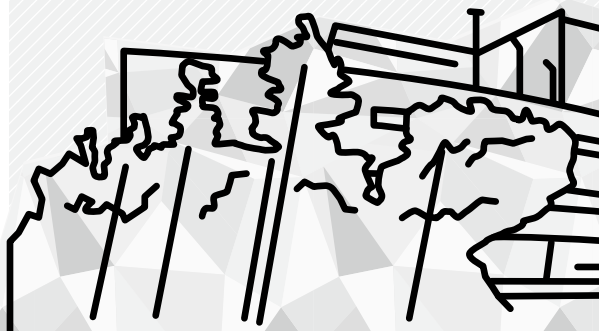
- |           |              |
|-----------|--------------|
| <b>会費</b> | 喜寿を越えられた卒業生  |
|           | ..... ご招待    |
|           | それ以外の卒業生     |
|           | ..... 3,000円 |

会報同封のハガキにて総会・  
懇親会のご出席をお出ください。

場所  日本大学芸術学部内

TEL. 03-3554-5363

※当日、正門にてご案内致します。



「江古田に、おかえりなさい。」

# ホーム カミングデー & 校友会総会

令和元年

7月13日

同日  
開催

この春にはA棟が完成し、30年ぶりに芸術学部の「全学年江古田修学」がスタートしました。そんな新キャンパスで懐かしい恩師や友人との交流を深めていただくホームカミングデー。たくさんの卒業生のご来場、お待ちしております！



# 第13回日藝賞決定

4月3日の入学歓迎式において授与式が行われました。

今年の受賞者は声優の小野大輔さん（放送・H12年度卒）です。

日藝賞および日藝アンバサダーとして日藝の広報活動にご協力いただきます。



**小野大輔さん**（声優）  
平成12年度卒業 放送学科

5月4日生まれ、高知県出身。

大学在学中からテレビやラジオの制作に携わり、その後2001年より声優として活動を開始。2005年TVアニメ『AIR』で初主演、2006年に『涼宮ハルヒの憂鬱』古泉一樹役で注目を集める。第2回声優アワード助演男優賞、第4回に続き第9回声優アワードにて2度目の主演男優賞を受賞。近年の代表作は『ジョジョの奇妙な冒険』シリーズ（空条承太郎）、『宇宙戦艦ヤマト2202 愛の戦士たち』（古代進）、『おそ松さん』（松野十四松）、『進撃の巨人』（エルヴィン・スミス）、『この世界の片隅に』（水原哲）。アニメに限らず映画『スティーブ・ジョブズ』（スティーブ・ジョブズ）、『パシフィック・リム：アップライジング』（ネイサン・ランバート）、『ワンダーウーマン』（スティーブ・トレバー）、『ドクター・ストレンジ』（モルド）、海外ドラマ『GOTHAM/ゴッサム』（ジェームズ“ジム”・ゴードン）、『Glee』（フィン・ハドソン）など吹替えでも幅広いキャラクターで活躍をしている。故郷の高知県に馴染みが深く2010年に高知県観光特使任命され、2017年からは出身地の高知県佐川町の観光大使を務めている。

# 皆さん今日は！

本年より皆様の仲間入りをします。どうぞよろしく。

## ●岩下 響（写真学科卒）

写真学科に入学し、もう4年が経ってしまいました。日芸で過ごした日々は、とても濃いものでした。



学バスに揺られ所沢校舎に通った1、2年生。初めて学んだ銀塩写真は、私を幾度となく苦しめました。フィルムをうまく装填できず、暗室作業に慣れず、何度もリール巻きを失敗しました。課題が終わらず泣きながら暗室に入ったあの頃が懐かしいです。そんな思い出が詰まった所沢校舎が閉校となり、寂しさを感じています。

学び舎を移し3、4年生を過ごした江古田校舎。実践型の授業が増えました。第一線で活躍される先生方の授業は、面白くも厳しさのあるものばかりでした。授業を受けるたびに、写真に関わる仕事がしたいと想うようになりました。4月から新聞社で働きますが、写真学科で培ったものを生かしていきます。

日芸を辞めたいと思ったこともありましたが同期、先生、助手さんに支えられ、卒業を迎える今は、この日芸に入学してよかったと心から思います。

## ●富内 浩士（映画学科卒）

所沢の正門で、守衛さんに止められた1年生の頃が懐かしく思い出されます。きっと1年生には見えなかったのだと思います。



四年間、最初から最後まで先生や友人たちと笑いながら過ごした日々

は、これが自分のものだとは思えないほど眩いものでした。

高校まで運動ばかりしていた私ですが、大学で出会った特徴があって秀でた同級生、先輩、後輩たちと関わりを持つに連れ、自分の夢が次第に形になって現れ目標になっていきました。そんな毎日が大切で忘れがたい私の財産です。3年生の映画ビジネスで行う映画祭では、実際に映画を上映するという大変さを学び、また先輩の紹介の映像制作のアルバイトや同級生たちの作品制作に関わり、色々な意味で心身ともに鍛えられたと思います。その積み重ねのおかげで、CM制作の会社に就職することになりました。最初は大勢のスタッフの一人に過ぎませんが、その一人がなくてはならないものになるように頑張ります。また、私は水泳を長くやっていたので、水中など水や海に関連する作品に関わりたいと思っています。

## ●竹村 太一（美術学科卒）

生活のなかで素通りしてきた景色や感覚を言語化できず、モヤモヤした感情を抱いて生活していました。幼い頃感じた「あの



感覚」は何だったのか、公園のベンチの「不安感」は何か、道路に落ちてるモノがこちらを睨んでくるのは何故か？しばしば考えては無視していました。日芸に入学してから得たものは、これらの近づき方や接し方な気がしています。彫刻の基礎や考え方、展示をみたりすることで知識や経験が増えて1つのものを、様々な視点から捉えることができるようになります。

した。気がつけば日々の生活や行為のなかで、モヤモヤしたモノたちに名前を与えては受け取りながら、自身の成長とモノたちに接近しているのを感じました。私はこれらに作品として様々な素材や行為で接近しようとしています。全てが未完成な気がしています。さらに近づきたい思いから日芸の院生になることを決めました。4月からもモノたちへの試みを続けて行きたいと思っています。

## ●高井 麻友子（音楽学科卒）

幼い頃からピアノ、中学校でフルートを習い、身の回りに音楽がある生活が当たり前でした。高校では吹奏楽に没頭し、卒業後はフルートの他にも様々な芸術を学びたいと考え、日芸への進学を決めました。



入学後は友人や環境に恵まれ、レッスンや合奏の授業で大変ながらもとても充実した毎日を送る事ができました。音楽以外では映画学科や演劇学科の授業も受ける事ができ、視覚的に表現する芸術を学び、多くの事を吸収できたと感じています。音楽だけでなく幅広い芸術に触れられ、大学4年間を日芸で学ぶ事ができて良かったです。

4月からは、横浜市消防音楽隊ドリルチームとして演奏、演技を行います。大学で専攻していたフルートで仕事をする事ができるのがとても嬉しく、両親やお世話になった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。音楽の素晴らしさを多くの人々に伝えられるよう精一杯頑張りたいと思っています。

### ●村上 智範(文芸学科卒)

小説を書いたことなどありませんでした。それでも小説家になるのだと思い、日芸に入学しました。いま思えば全くもって根拠のない確信ですが、その私が今年、卒業制作で佳作を受賞しました。自慢です。でも、まだまだです。

小説家とは、なんですか。小説を書いて、生活を送ることができれば小説家でしょうか。では、兼業作家は？ 収入の五割が小説ならば小説家なのか。違います。

小説家とは、小説を書く人間のことです。そのほかに条件は要らず、日芸に入学して初めて小説を書いた日から、私は小説家でした。その呼称はあくまで呼称でありながら、私が欲してやまないものでした。だから、小説を書き続けたいと思います。そして、できればそれだけをして生きていきたい。小説を書くだけのいっとう純粋な存在になって、生きていきたいと思っています。

ついこの間、文芸学科で佳作をとっただけの小僧が、いつか純粋な物書きとして息をしていくのを見守っていただければと思います。

### ●矢光 翼(演劇学科卒)

執筆が好きだなぁ、と自覚したのは高校二年生の頃でした。演劇部で台本が枯渇していうんうんと唸っていた当時の部長に「僕小説はよく書きますけど……」と要らぬ世話をかけて部長に縋りつかれ書き上げた作品が、トントン拍子に形になって大会で創作脚本賞を獲り、褒められたり感謝されたり。それ



まで「自分のための執筆」だったものが「誰かを楽しませるための執筆」に変貌した瞬間でした。さて、大学に四年間通ってみて、果たして僕は執筆で誰かを楽しませられたのでしょうか。それは僕の作品を読んだり観たりしてくれた人にしかわかりません。なので、これからも僕は演劇学科助手として学科をサポートしつつ、有り難いことに卒業してなお大学に関われるこの立場を最大限に活用して、誰かを楽しませるための執筆を精いっぱい続けていきたいと思っています。どちらも片手間にならないよう、しっかりと責務を果たします。よろしくお願いします。

### ●松本 佳奈子(放送学科卒)

大学付属の学校で周りの友達が進路を決める中、好きなことを勉強したいと悩んでいた私に兄が「好きなテレビの勉強ができる日芸は？」と言。それが私と日芸の出会いです。大学では、この先の人生でも関わっていくクセの強い仲間と沢山出会うことができたので、あの時の決断は間違っていないと思います。そんな仲間と出会えたのは、目指すモノが似ており、一人一人が持つ感性や闘争心などベクトルが同じ人が集まる「唯一無二の環境」だったからです。他大学の学生と比べると華やかな学生生活ではなかったと思います。けれど、自分にはないものを吸収でき、多くの刺激をもらえる日々で、切磋琢磨できる毎日が大好きでした。おかげさまで、何かに取り憑かれたかの様に今日の今日までテレビの魅力にはまっています。夢になれるものを教えてくれた先生方、仲間、応援してくれた家族に恩返しできるように、これからテレビ業



界で頑張っていきたいと思います。

### ●吉川 ひなの(デザイン学科卒)

自分は、デザイン学科に入ったものの正直「デザイン」というものが何なのかよく分からなかったのも、とにかく絵を描き続けました。だけど、それを評価してもらうことができました。これでいいのかと不安になることもたくさんありましたが、自分の好きなことや自分の好きな表現を貫くことができました。絵を描くことは楽しいことだらけではないと感じたのも大学でしたが、絵を描く自分と1番向き合えた時間も大学でした。真剣に向き合えたからこそ良い気分ばかりではなかったのだと思います。また、好きなように生きていたらこんな私を好きになってくれる友人にも出会うことができました。学校生活のことだけではなく、たくさんの瞬間に友人達が支えになってくれました。また、心から尊敬できる先生にも出会うことができました。先生方、助手の皆さん、友人達、たくさんの人のおかげで、本当に充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



# 日藝の卒博開催

日本大学芸術学部では、8つの学科の卒業成果物をご覧頂く機会として、平成27年より『日藝の卒博』と称し、写真・映画・美術・音楽・文芸・演劇・放送・デザインと、様々な卒業成果物を博覧会として総合的にご覧いただいております。

昨年度からは正式な学部行事として開催する運びとなり、「ニチゲイで、化けました。」のメインコピーは継続しつつ、新たなポスターやチラシを作成しました。年末のシーズン1(公演中心)、3月のシーズン2(総合発表)、春のシーズン3(映画上映)と進んでおります。

特にシーズン2では、日藝のキャッチフレーズ「8つのアート、1つのハート」を感じてもらおうと、8学科の作品・論文展示、上映・発表、そして演奏会等が実施され、3月16日及び17日はスペシャル・デイズとして、通常展示以外の様々な企画が行われました。最終日は展示時間終了後に、在学生による歌やダンス、演奏等のパフォーマンスを組み込んだ教員・学生合同制作の公開フィナーレイベントもブラッシュアップし、木村学部長や田上校友会長のご挨拶も頂きながら、大いに盛り上がりました。

また、今回より学生たちが主体的に集まり、学生実行委員会を立ち上げてくれました。彼らも初めての試みで、専門領域の違いや、それを取り囲む文化の差に戸惑いながらも、独自の企画や全体運営上のコミュニケーションなどに力を発揮してくれたことは、大きな収穫でした。

『日芸祭』同様に、校友のみなさまのご来場をお待ちしております。

○シーズン2開催期間 平成31年3月10日(日)から17日(日)まで

○開催場所 日本大学芸術学部江古田校舎

○同時開催『入試博覧会』(進学相談会)平成31年3月17日(日)



## 鹿児島江古田会総会

8月4日（土） 於：ホテル南洲館

平成30年8月4日（土）に、鹿児島市のホテル南洲館で、鹿児島江古田会の平成30年度総会が行われました。来賓として校友会から芸術学部次長の高橋則英副会長、さらに熊本江古田会の川村晃生事務局長にご出席いただき、盛大な会となりました。

総会では中野順会長のあいさつに始まり、平成29年度の会計報告などを行いました。その後の懇親会では、高橋副会長を中心に大きく変化を遂げている芸術学部キャンパスの話題や、同じ学び舎で学んだからこそ共有できる江古田・所沢での学生時代の思い出話などで盛り上がりしました。

また、会員で昨年文化庁の地域文化功労者表彰を受けた尾前喜八郎氏の個展が、9月4日から10月28日まで鹿児島市の児玉美術館で開催される

ことについてご本人から発表がありました。鹿児島の英雄・西郷隆盛を、日藝OGの林真理子氏が原作、脚本を

中園ミホ氏が担当する「西郷どん」で沸いている鹿児島ですが、会員の皆様も元気に活躍中です。



## 石川江古田会総会

9月8日（土） 於：ANA クラウンプラザホテル金沢

今年は大雪に続いて40度近い猛暑となり、近年稀にみる気象に驚かされている北陸です。

そんな暑さも少し和らぎ始めた平成30年9月8日、第4回 石川江古田会の総会・懇親会が、金沢駅前のANAクラウンプラザホテル金沢にて開かれました。

今年度は13名の会員が出席し、木村政司学部長と田上竣詞校友会長のご臨席を賜りました。

総会では事業計画や監査報告が滞りなく承認されました。続いて、二年後に控えた5周年へ向けての意見交換も行われ、今後、臨時の幹部会などを開いて検討を重ねていくことなどの方向性が示されました。

総会後、木村学部長と田上校友会



長を会場に迎え、本年の講演会として、会員でNHK金沢放送局アナウンサー二見和男氏(放送学科、S44年卒)に映像でご出演いただき、氏の仕事への情熱や、半世紀に渡るアナウンサー人生をユーモアも交えて楽しく語っていただきました。

懇親会では北門喬支部長が開会の挨拶を行い、木村学部長と田上校友会長からご祝辞を頂戴いたしました。お二方とも石川県に深いご縁が

あるとのことで、一同親近感を深めながら拝聴いたしました。

田上会長のご発声による乾杯のあとは、世代や学科の壁を超えて和やかに歓談を楽しみ、あっという間の2時間でした。最後に全員で校歌を斉唱、5周年に向けてのさらなる一致団結を期しつつ、それぞれの帰路につきました。

また、石川江古田会後援にて、10月12日から11月4日の間、ジャズ

ミュージシャンの撮影で著名な写真家、中平穂積氏(写真学科卒)の写真展が行われます。期間中には氏のギャラリートークも予定されています。主催、会場は石川県野々市市の金沢工業大学です。兼六園の紅葉も見ごろです。ご来県の際にはぜひ足をお運びください。

干場文夫(音楽50年度卒)

## 愛知江古田会総会

9月29日(土) 於：キャッスルプラザ

第3回愛知江古田会総会は、平成30年9月29日(土)午後6時半から名古屋駅前のキャッスルプラザで、来賓3名、会員32名、計35名の出席のもと開かれました。

会は佐枝一史幹事(放送)の司会で進められ、藤田勝支部長(演劇)の開

会挨拶に続き精園喜昭幹事(写真)、土岐洋子幹事(演劇)からそれぞれ会計および監査報告があり、満場一致で承認され始まりました。

このあと来賓の木村政司学部長、田上竣詞校友会長、熊本支部の川村晃生事務局長の3人も加わって、直ち

に懇親会へと移行。来賓から祝辞を頂戴した中で木村学部長は、アメフト部に端を発した一連の問題についても触れ「会員数の多い愛知の皆さんは、日芸ブランド向上のため是非尽力して欲しい」と述べました。続いて会の運営に携わる幹事9名が登壇。



眞鍋美紀(演劇)、土岐両幹事に続く3人目の女性幹事として新たに平成卒の三富由杏子さん(演劇)が加わったことが紹介されました。

成田拓夫副支部長(文芸)の乾杯発声で会食開始、4卓に分かれての着席形式ながら校友同士いつの間にか各テーブルを行き交うという、いつもの歓談風景が見られました。途中初参加会員の一言スピーチ、大先輩を主とした近況報告があり、学部OBらしい興味深い話に一同耳を傾けているうち、瞬く間に時間は過ぎていきました。最後に竹岡幸彦幹事(写

真)による集合写真撮影と、村井幹事の「愛知は毎回参加者が増える江古田会にしましょう」という中締めによりお開き。会場を別室に移しての二次会は10時過ぎまで話に花が咲きました。

ところでこの夜は大型で強い台風24号が接近中。交通機関の乱れの心配や災害対策などで、木村学部長、田上校友会会長、それに会員の酒井庸行参議院議員の3氏が集合写真撮影を待たずに中座するという事態となりました。幸いこの時名古屋はまだ平穏、市内の交通機関も平常通りでし

たが、気の毒だったのは二次会まで付き合ってくれた熊本支部の川村氏。大の城マニアで翌日曜日、6月に復元工事が完成した名古屋城本丸御殿と、複製に替わり展示中の国重要文化財のふすま絵「竹林豹虎図」見物を楽しみにしていたのに、早々と閉園が決定。新幹線も昼前から計画運休となるなど散々。幹事団の胸も痛みました。一年後の総会は9月28日(土)の予定。川村さん、これに懲りずに次回も是非ご出席ください。

幹事 村井秀樹(放送)

## 岩手江古田会総会

10月27日(土) 於：盛岡モン・フレープ

第14回岩手江古田会の総会・懇親会が10月27日に盛岡市内のフランス料理店モン・フレープで会員、来賓合わせて15名の参加で開催された。

総会は國分会長の挨拶で始まり、芸術学部高橋次長から「2019年度から江古田校舎の通年化を」、田上校友会会長より「江古田会の結束を、私は見

た目と違いやさしい男です」ユーモアを交え挨拶をいただきました。議事に入り、議案の活動報告及び計画、会計報告と予算は全員異議なく承認されたが、最後の役員改選では長年その役にある國分会長より退任の意思が表明され、後任について審議した結果、来年は岩手江古田会の創立

15周年に当たり、15年目の総会は新たな装いとなった芸術学部内をお借りして出張総会をしよう、また足を延ばして会員の高橋比奈子国會議員を激励訪問しよう等々の意見が出され、審議の結果、現役員は全員1年間の期限付きで留任し来年に臨むことで承認された。



懇親会は、日大岩手県支部の水野副支部長、宮城江古田会桑折会長の挨拶、秋田江古田会藤澤会長の乾杯で始まり、近況報告では3分間スピー

チならぬ延々と演説風な報告も飛び出すなど笑いのなか、和気あいあいと時間を忘れるほどの会となった。また出席者のうち4人は女性会員で、

一人は今年初めての参加者で今後の運営に弾みがついた今年の総会・懇親会だった。

岩手江古田会 國分一彦

## 台湾江古田校友会総会

11月27日（火） 於：歐華酒店

平成30年11月27日（火）、日本大学芸術学部台湾江古田校友会平成30年度総会が台湾台北市《歐華酒店》にて開催されました。日本からの来賓木村政司学部長及び写真学科原直久先生がご出席され、また24名の日本大学台湾校友会及び江古田校友会の方々にも参加して頂きました。

総会は台湾江古田校友会黄国鈞会長からの挨拶が始まり、木村学部長及び原直久先生からのご挨拶、そして、新年度の会長を選挙し、新しい会長は林舜龍（美術）が当選となりました。最後、会員の皆様が一人ずつ近況報告を語りまして、楽しい交流が過ぎました。

総会中、台湾日本大学校友会からの提案で、長年、台湾留学生の世話をしている原先生に台湾日本大学校友会林廷隆会長から感謝状を贈呈しました。長い期間、大変原先生にお世話になりました。有難うございました。

感謝状を贈呈した後、各会員の近況報告やその他の活動について説明し、聞きながら、楽しい一日を過ごしました。



## 秋田江古田会総会

12月1日(土) 於：イヤタカ

秋田江古田会は、平成30年度第12回総会を12月1日(土)午後5時から秋田市のイヤタカで開催いたしました。

ご来賓に、木村政司学部長、田上竣詞交友会長の他、宮城江古田の桑折洋一会長、岩手江古田会の國分一彦会長のご臨席をいただいて開催いたしました。

平成29年度の活動報告、決算報告に続き、平成30年度の事業については、会の発展向上などに努める交流会などを随時開き具体的な事案を検討することや会員の行なう各事業への協力、又、会報の発行の継続を承認されました。総会の最後に出席者の自己紹介と大学の情報などが紹介されました。

東北地区の江古田会は会長同士のつながりが強く、近く各県の持ち回りとして合同で江古田会を開催する方向で検討することなどが話題に登

りました。また大学としては、今年色々話題になったことなどが紹介され、最後に来年度、芸術学部が江古田に全部集まることから7月7日に学校共催でホームカミングデイと総会を開催するのは是非とも大勢で日芸において頂きたいとの案内がありました。

総会後の懇親会では日本大学の校歌斉唱に始まり、支部長、ご来賓の挨拶

のあと和気あいあいと学生時代のことには花が咲きました。

秋田江古田会事務局長 仙北屋昭弘



## 江古田会各支部連絡表

各江古田支部に  
ご在住の校友の皆さん

各支部では参加者を募っておりますので是非皆様のご連絡をお待ちしております。

| 支部名     | 名 前    | 卒業学科年度    | 連絡先           |
|---------|--------|-----------|---------------|
| 北海道江古田会 | 氏家 曹一  | 放送 52 年度卒 | 090-3468-6657 |
| 青森江古田会  | 高木 保   | 演劇 32 年度卒 | 0177-77-7708  |
| 秋田江古田会  | 仙北屋 昭弘 | 音楽 54 年度卒 | 090-2954-2283 |
| 岩手江古田会  | 佐藤 剛   | 演劇 53 年度卒 | 0197-25-5497  |
| 宮城江古田会  | 桑折 洋一  | 放送 55 年度卒 | 090-3752-8833 |
| 山形江古田会  | 横倉 晋也  | 美術 52 年度卒 | 023-631-8040  |
| 新潟江古田会  | 増井 伸一  | 写真 48 年度卒 | 025-233-3910  |
| 福島江古田会  | 吉田 公之  | 美術 39 年度卒 | 090-5845-1724 |
| 長野江古田会  | 三浦 博之  | 放送 49 年度卒 | 0263-46-2583  |
| 愛知江古田会  | 藤田 勝   | 演劇 H9 年度卒 | 090-1783-5103 |
| 石川江古田会  | 干場 文夫  | 音楽 50 年度卒 | 090-6273-4982 |
| 岡山江古田会  | 藤井 一也  | 文芸 53 年度卒 | 090-3177-0334 |
| 福岡江古田会  | 飛嶋 慶一  | 写真 44 年度卒 | 090-6953-5543 |
| 佐賀江古田会  | 光野 忠利  | 映画 40 年度卒 | 090-9659-0952 |
| 熊本江古田会  | 奥村 隆志  | 写真 43 年度卒 | 090-7169-2909 |
| 宮崎江古田会  | 米倉 史朗  | 写真 52 年度卒 | 090-1080-8082 |
| 鹿児島江古田会 | 堀之内 隆  | 放送 49 年度卒 | 090-3739-7374 |

海外江古田会として台湾江古田会、韓国江古田会、中国江古田会があります。

## 学部ニュース

去る3月25日に平成30年度卒業式が挙行されました。

日本大学学長賞・優等賞・優秀賞、芸術学部長賞・芸術学部奨励賞など卒業生、大学院修了生に対する各賞の発表及び表彰がありました。

### ●日本大学優秀賞(学術・文化)

○放送学科 山内理実

### ●日本大学芸術学部優等賞

○写真学科 丸喜翔太 山口頌子

篠塚美玖 萩原哲平

○映画学科 柳田菜生 佐藤尚人

近藤 都 正延佳奈

○美術学科 三塚菜々 奥山真夢

芦澤空良 宮崎虹季

○音楽学科 石村頼史 飯田彩香

村松 昂 金田優花

○文芸学科 種子田萌夏 藤井直人

島崎 葵 棚橋 慶

○演劇学科 吉葉美桜 向井安美

瀧ワリエー真 福井 花

○放送学科 神代早紀 藏道真琴

白須賀咲希 藤原佑子

○デザイン学科 岡本 強 植田百絵

藤田奈緒 吉川ひなの

### ●芸術学部長賞(学業部門)

○写真学科 丸喜翔太 中古 樹

山田 凌 萩原哲平

土屋りゅう

○映画学科 川崎樹音 柴山杏香

山口優衣 前田瑠香

林 大智

○美術学科 竹村太一 鮎谷菜々子

村川 響 岩崎宏昭

鈴木志歩

○音楽学科 石村頼史 松澤春果

飛田真瑠見 村松昂

竹内京花

○文芸学科 武田孝祐 高貫絵里菜

島崎 葵 猪瀬 愛美

會田夏未

○演劇学科 諏訪早紀 秋山舜稀

野瀬迪子 吉田宙奈

山日涼夏

○放送学科 森 朝希 石川裕貴

白須賀咲希 中村知彩季

運天玲朗

○デザイン学科 濱田結衣 諏訪暁子

藤田奈緒 藤澤千愛

吉川ひなの

### ●芸術学部奨励賞

○写真学科 中島大吾

○映画学科 小野寺但馬

○美術学科 榎林 春

○音楽学科 笠原奈実

○文芸学科 箱田慶次

○演劇学科 橋本 梓

○放送学科 小林真帆

○デザイン学科 斉藤 彩

### ●金丸重嶺賞

○写真学科 乙川和矢 深津春平

関口拓真

### ●渡辺俊平記念賞

○映画学科 佐藤尚人

### ●呉正恭賞

○放送学科 豊島彩華 福士 泉

内ヶ崎真子

### ●川野希典賞

○演劇学科 吉田広大

### ●筈見有弘賞

○映画学科 三村汐音

### ●大竹徹賞

○映画学科 口田花梨

### ●八木信忠賞

○映画学科 田中柊子

### <大学院>

### ●日本大学芸術学部湯川制賞

○文芸学 泉 恭葉

○映像芸術 彭 志妍

○造形芸術 柴田直起

○音楽芸術 松本真結子

○舞台芸術 柏木純子

### ●日本大学芸術学部澤本徳美賞

○文芸学 木村千佳

○映像芸術 小堀 弘

○造形芸術 Kanaan Michelle

○音楽芸術 千田美佳

○舞台芸術 鈴木紺菜

## 学科ニュース

### 写真ブロック



1939年に創設されました写真学科は2019年、創設80周年を迎えました。節目ある年に4月から江古田で通年化となり、新たな未来に向けて写真学科一同がんばってまいります。よろしくお願いたします。

この3月には写真学科第78期の卒業生を104名出すことができました。そして4月に106名の新入生を江古田校舎で迎え、総勢484名(4月1日現在)が在籍しております。

新年度から新たに服部一人先生(昭和58年度卒)を准教授に、重松駿先生(平成26年度卒)を助教に、そして山本久之氏を講師として迎えました。また昨年度をもちまして鈴木孝史先生(昭和48年度卒)、藤本ツトム先生(平成2年度卒)が退職されました。

### ●今後のお知らせ

・写真学科創設80周年記念として5月8日～6月7日まで日本大学芸術学部江古田校舎芸術資料館でオリジナルプリント展「ファインプリントの伝統—20世紀アメリカの写真—」を開催します。

・5月30日～6月5日までポートレートギャラリーで「GRIP 2019日本大学芸術学部写真学科学生選抜作品展」を開催します。

★写真展および直近情報等の詳細は

日本大学芸術学部ホームページ、写真学科公式Facebook/Twitterをご覧ください。

#### ●平成30年度後期の報告

・宮嶋茂樹客員教授による特別講義「報道写真の将来について語る」を11月に所沢校舎と江古田校舎で開催しました。

・練馬区健康推進課と日本大学芸術学部写真学科による官学連携プロジェクトで、3年生10名の写真とコメントで構成した「都内の光のある場所巡りコース」が「ねりまち+てくてくサブリ」にアップされました。

・芸術祭展示作品の中から写真学科奨励賞を1ユニットと2名に、また新写真派協会賞を1名に授与しました。  
・「出て来い新人7—日本大学芸術学部写真学科気鋭学生写真展」(1月29日～2月4日)をニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1で開催しました。

・平成31年度「総合大学の理想像をめ

ざす日本大学」のメイン写真のコンテストで、最優秀賞を1年生の鈴木雅治「日本の夜明け」が受賞しました。他に優秀賞2名、審査委員特別賞1名も選出されました。12月13日、日本大学会館大講堂において表彰式および懇親会が開催されました。

・「SELECT SELECT 2019 日本大学芸術学部写真学科学生選抜作品展」を芸術資料館で2月15日～3月1日まで開催しました。

・3年生の宇田渉平が国際オリンピック委員会主催のThe IOC Young Reporters Programmeにおいて、写真部門の世界代表6名のうちの一人に選拔され、10月にアルゼンチンで開催されたユースオリンピック競技大会の取材を行いました。

・第47回公益社団法人日本広告写真家協会公募展APAアワード2019において、学生賞を3年生の石田真緒が受賞しました。

・「写真学校8校による卒業制作展2019」の最初の1週間3月5日～11日まで他の3校と合同で「日本大学芸術学部写真学科卒業制作選抜展」をニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1+2で開催しました。本年は卒業制作のオリジナルを展示しました。

・「2019卒展」を3月10日～3月17日に日本大学芸術学部江古田校舎で開催しました。

・卒業制作の中から金丸重嶺賞が乙川和矢「清水越え」、関口拓真「GUYS FOR -0.001sec.Beyond-」、深津春平「出世しゆく対価」に決まりました。その他の賞については「学部ニュース」のページをご覧ください。

・オリジナルプリント展「原直久 時の遺産」を10月9日～11月9日芸術資料館で白黒の銀塩およびプラチナによる作品と写真ギャラリーでカラー作品による写真展を開催しました。

\*学年は平成30年度のもの

## 映画ブロック



●平成30年度映画学科各賞が、次の卒業生の論文・計画・制作に授与されました。

☆第46回渡辺俊平記念賞

(映像表現・理論) 佐藤尚人

☆第21回答見有弘賞

(映像表現・理論) 三村汐音

第12回大竹徹賞

(映像表現・理論) 口田花梨

第13回八木信忠賞

(録音) 田中柊子

第43回映画学科奨励賞

(映像表現・理論) 山本麻都香、立川憲一郎、佐藤晃大、(監督) 屋代晴香、(撮影) 柳田菜生、(録音) 井村未幸、(演技) 富田早紀

☆第28回映画学科選奨

(映像表現・理論) 鈴木翔子、東條裕輝、米岡秀宣、(監督) TANG YI、(撮影) LI QIUSHI、(録音) 齊藤春華、(演技) 折原秋良

☆第26回映画学科特別賞(伊藤忠ケーブルシステム提供)

(映像表現・理論) 戸巻夕夏、玉川諒太郎、白石真彩、(監督) 星野孝輔、(撮影) 斎藤 薫、(録音) 吉田美幸、(演技) 長谷川愛悠

☆第16回アートライティング賞(東芝エルティーエンジニアリング提供)

(撮影) 岡崎友理恵〔照明にたいして〕  
第18回映画学科コダック賞(コダックジャパン提供)

(監督) 菊地美咲、霧道百桃(撮影) 織田知樹、杉山 綾

(録音) 養田 司、山川莉奈

(演技) 青山吉能、池田和樹

☆第4回三善賞〔(株) 三善提供〕(演

技) 宮原えりか

●以下の各賞が、映画演出Ⅲ・技術Ⅲ・総合制作演習Ⅱに授与されました。

☆江戸クリエート賞

(監督) 村本晃来、増田晶子、中澤菜々子

☆三善賞

(演技) 溝口明日花

☆映画学科コダック賞

(撮影) 田邊健太、笹田智裕、平谷里紗、深澤杏奈、平林知也、鈴木エレナ

☆映画学科特別賞

(録音) 柏崎 南、志村直人、田辺ちひろ

☆アートライティング賞

(撮影) 久松友佳

●平成31年度より、次の先生が新しく映画学科の講座を担当します。高橋栄樹講師(卒業研究)、森山朋絵講師(映像特別講座Ⅱ)、太田吉治講師

(映画技術論)、谷口紀江講師(映画理論基礎)、花柳貴柏講師(日舞Ⅱ)

●平成30年度をもちまして、次の先生方が映画学科を退職されます。出口忠夫講師、鈴木智美講師、大口孝之

講師、木原圭翔講師、映画学科の発展にご尽力いただきありがとうございました。

## 美術ブロック



■赤塚雅代・中西静香 木版画展  
会期:3月25日～4月4日  
会場:高輪画廊(銀座)  
絵画コース版画専攻卒業生、中西静香が出品します。  
■nature trois 自然の流れに沿って、  
会期:3月29日～4月6日  
会場:ギャ러리・サロンドエス(銀座)  
大山智子助手、嶋村有里子講師が出品します。  
■雨引の里と彫刻2019  
会期:4月1日～6月9日  
会場:茨城県桜川市大和地区  
大槻孝之教授が出品します。  
■THE BODY  
-身体の宇宙-  
会期:4月20日～6月23日  
会場:町田市立国際版画美術館(町田)  
池田俊彦講師が出品します。  
■日比野 絵美展 パノラマ  
会期:5月6日～11日  
会場:藍画廊(銀座)  
絵画コース版画専攻卒業生、日比野絵美の個展です。  
■和ノ音ノ、ホノカナルニ  
会期:5月30日～7月21日  
会場:HOKUBU記念絵画館(札幌)

絵画コース版画専攻卒業生、中西静香が出品します。  
■オマージュ ミリキタニ展  
-アートのカ- (猫のまなざし)  
会期:6月11日～19日  
会場:京王プラザホテルロビーギャラリー(新宿)  
笹井祐子教授が出品します。  
■版画五美大 ポートフォリオ展  
会期:9月27日～10月2日  
会場:多摩美術大学ギャラリー(八王子)  
絵画コース版画専攻の学生が出品します。  
■アート教育プロジェクト  
稔りゆく自然、移りゆくアート展  
-日本とメキシコ版画交流-  
会期:10月11日～11月30日  
会場:星と森の詩美術館(新潟)  
絵画コース版画専攻の教員他とメキシコ人作家が出品します。  
■第54回昭和会展  
会期:3月22日～4月2日  
会場:日動画廊(銀座)  
石井萌々子('17院造形専攻修)、宮田みな美('16卒)が入選しました。  
■坪井麻衣子展  
会期:5月3日～5月9日  
会場:ギャ러리・サロンドエス(銀座)  
坪井麻衣子専任講師の個展です。  
■第56回太陽展  
会期:5月23日～6月11日  
会場:日動画廊(銀座)  
櫻井孝美客員教授、福島唯史教授、設

楽俊元助手が出品します。  
■現代作家美術展  
会期:5月24日～6月5日  
会場:ギャラリー絵夢(新宿)  
大山智子助手が出品します。  
■3つの個性  
会期:7月上旬予定  
会場:ギャ러리・サロンドエス(銀座)  
福島唯史教授が出品します。  
■第15回バリ祭展  
会期:7月8日～7月20日  
会場:高輪画廊(銀座)  
大庭英治教授、福島唯史教授、嶋村有里子講師、大山智子助手、設楽俊元助手が出品します。  
■大山智子・設楽俊・張麗寧3人展  
会期:9月14日～9月23日  
会場:成城さくらさくギャラリー(成城)  
大山智子助手、設楽俊元助手、張麗寧('09院造形専攻修)が出品します。  
■octogone(仮称)  
会期:10月14日～10月20日  
会場:あかね画廊(銀座)  
嶋村有里子講師、渡辺有葵講師、坪井麻衣子専任講師、大山智子助手、干場月花('16卒)他、日藝絵画卒業生によるグループ展です。  
■第72回立軌展  
会期:10月31日～11月8日  
会場:東京都美術館(上野)  
大庭英治教授、福島唯史教授、設楽俊元助手が出品します。

## 音楽ブロック



●平成30年度 卒業論文要旨発表会  
2019年3月15日(金)江古田校舎・東棟6階音楽小ホールに於いて、卒業論文が優秀であった学生による卒業論文要旨発表会が開催されました。

<理論コース>  
金田優花  
<音楽教育コース>  
木村遥香、笠原奈実、林澄香、豊田恒太、小山夏来、片沼慎  
<情報音楽コース>

松澤春果、武石樹、山崎義人

### ●平成30年度 卒業演奏会

2019年3月15日(金) 練馬文化センター・小ホールに於いて、卒業演奏及び卒業作品で優秀であった学生の出演する卒業演奏会が開催されました。

#### <作曲コース>

並木唯我、小島伊織、村松昂

#### <声楽コース>

植元直美、土井野理央、竹内京花

#### <ピアノコース>

瀬沼惟文、飯田彩香、地切まり、堀健太、長田和也、石村頼史

#### <弦管打楽コース>

上田梓、織田景大、宮川響、井上実月、飛田真瑠見

### ●日本ピアノ調律師協会主催 第20回新人演奏会

2019年4月20日(土) 17:00開演

東京文化会館・小ホール

ピアノ独奏 石村頼史

### ●第89回 読売新人演奏会

2019年5月4日(土・祝)・5日(日・祝)

東京文化会館・大ホール

ピアノ独奏 石村頼史

ソプラノ独唱 竹内京花 ピアノ伴奏

長田和也

サクソフォーン独奏 飛田真瑠見

ピアノ伴奏 飯田彩香

作品発表 村松昂 フルート独奏

井上実月 ピアノ伴奏 地切まり

### ●第16回 サクソフォーン新人演奏会

2019年5月6日(月)川崎市高津市館ノクティーホール

サクソフォーン独奏 飛田真瑠見

### ●ヤマハ管楽器新人演奏会

2019年6月12日(水) 第37回クラリ

ネット部門 ヤマハホール

クラリネット独奏 山崎楓子

2019年6月13日(木) 第23回木管部門 ヤマハホール

フルート独奏 井上実月

2019年6月14日(金) 第35回金管部門 ヤマハホール

テューバ独奏 織田景大

### ●ムラマツ・フルートデビューリサイタル

日時未定 東京オペラシティ・リサ

イタルホール

フルート独奏 井上実月(小リサイタルの形で演奏します。)

### ●2019年度 音楽学科夏期受験準備講習会

2019年8月5日(月)～7日(水)に開催いたします。校友会員の皆様のお知り合いを、ぜひご紹介ください。

●平成30年度でご退職なされた先生は次の通りです。

長い間ありがとうございました。

池田直樹先生、堀江真理子先生、新井弘順先生、篠崎史子先生、高木雄司先生、守山光三先生、宮本恵先生

●今年度より次の先生が新たに講座を担当しております。

大寺雅子先生(准教授)、駒澤大介先生(助教)、白木麻弥先生、小林厚子先生、村津瑠紀先生、脇岡洋平先生

### ●訃報

元音楽学科教授で声楽家の丹羽勝海先生が1月29日に逝去されました。音楽学科に多大なご尽力をされました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 文芸ブロック



■文芸学科3年生の武田穂佳さんが第5回大学短歌バトル2019で優勝  
武田穂佳さんが、3月2日(土)に行われた「第5回大学短歌バトル2019 学生短歌会対抗 超歌合」(公益財団法人 角川文化振興財団主催)にてチーム「模短歌会」のメンバーとして参加、見事優勝に輝きました。

■卒業生の岡田遥さんが小説家デビュー

卒業生の岡田遥さんがKADOKAWAメディアワークス文庫から小説家デ

ビューを果たしました。作品名は「あやかし友人日記 巡る四季のため奇譚」です。2018年12月に刊行されています。

■大学院後期課程の二三川練さんが歌集を刊行

大学院芸術学研究科博士後期課程芸術専攻1年生の二三川練さんが歌集「惑星ジンタ(新鋭短歌シリーズ44)」を書肆侃侃房から2018年12月に刊行しました。

■窪田尚先生の詩作品が楽曲に

窪田尚先生の詩作品「球体の海」が混声合唱組曲になり、2018年11月4日(日)に川口リリア音楽ホールで初演されました。

■「ソコロワ山下聖美先生の新著『私の宮沢賢治 豊穣の人』刊行

ソコロワ山下聖美先生の新著『私の宮沢賢治 豊穣の人』が、ソレイユ出版から2018年12月に刊行されました。『別冊NHK100分de名著 集中講義 宮沢賢治 ほんとうの幸いを生きた』(3刷、NHK出版)も好評発売中です。

■近藤洋太先生『ペダルペスの足跡』を刊行

近藤洋太先生の『ペダルペスの足跡——日本近代詩史考』が、書肆子午線から2018年12月に刊行されました。

■上坪裕介先生が庄野潤三『明夫と良二』(講談社文芸文庫)の解説を担当

上坪裕介先生が解説を担当した、庄野潤三『明夫と良二』が、講談社文芸文庫から2019年2月に刊行されました。

## 演劇ブロック



### ■演劇学科創設70年

前号既報の通り、演劇学科は2020年、創設満70年の節目を迎えます。これに先立ち、2019年秋、学科70周年記念祝賀会を「演劇学科校友の集い」として開催することが決定しております。

### □演劇学科校友の集い／演劇学科創設70周年祝賀会

期日：2019年9月28日(土)午後1時  
場所：京王プラザホテル(東京都新宿区西新宿2-2-1)

※会費、参加方法等の詳細が決まり次第、学科ホームページ、郵便、SNS等によりご通知致しますので、どう

かご予約の上、ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。

### ■受賞のお知らせ

平成30年度(第73回)文化庁芸術祭舞踊部門において穴戸美穂さん(平成3年度卒)が「秀衛の会における『道成寺』の成果」で優秀賞を受賞しました。おめでとうございます。

### ■2019年実習発表のご案内

2019年度舞台発表の日程が下記の通り決定致しました。会場はいずれも江古田校舎・中ホール。

演目・開演時間などの詳細は決定次第演劇学科ホームページでお知らせ致します。

いずれも入場無料ですが、要予約となっております。お申込はホームページまで。

□総合実習ⅡB(3年洋舞)

6月28日(金)～29日(土)

□総合実習ⅡA(3年演劇)

7月11日(木)～13日(土)

□総合実習ⅠA(2年演劇)

8月10日(土)～12日(月・祝)

□総合実習ⅢB(3年洋舞)

10月18日(金)～19日(土)

□総合実習ⅡC(3年日舞)

10月25日(金)～26日(土)

□総合実習ⅠB(2年洋舞)

11月15日(金)～16日(土)

□総合実習ⅠC(2年日舞)

11月23日(土・祝)

□卒業制作(日舞)

11月30日(土)～12月1日(日)

□卒業制作(洋舞)

12月7日(土)～8日(日)

□卒業制作(演劇)

12月20日(金)～22日(日)

□総合実習ⅢA(3年演劇)

2020年3月20日(金・祝)～22日(日)

## 放送ブロック



### ■ACジャパン広告学生賞でグランプリ受賞

「ACジャパン広告学生賞」は、数ある学生広告賞の中でも最難関に位置付けられている賞です。昨年度は放送学科「CMⅢ」(34年生対象の選択必修科目)を受講する学生たちのチームが審査員特別賞と優秀賞を獲得しました。

そして今年度、第15回「ACジャパン広告学生賞テレビCM部門」において、昨年同様「CMⅢ」を受講する学生たちのチームが企画制作した作品が、グランプリ及び優秀賞(2本)を受賞しました。

### <グランプリ>

●「ハートをください」篇：猪腰侑花／藤原真帆／上野ひかり／小池輝／渡邊智哉

### <優秀賞>

●「話し相手」篇：弓削杏佳／高橋千恵／杉本桃子／嵯峨山興太郎／石山友基

●「スタート」篇：笠置勇人／阿部七瀬／湯浅里紗子／田地楓佳／伽麗

### ■ACC学生CMコンクールで大賞受賞

第31回ACC学生CMコンクールにおいて、放送学科3年の森文美さんがラジオCM部門の最高賞である大賞を受賞しました。

同コンクールは全日本シーエム放送連盟(ACC)がCMの質的向上と育成を目的に実施しており、「既存の広告作品にとらわれない学生らしくオリ

ジナリティ溢れるアイデア」を審査基準に実施されているものです。今年度は全国から2,460本の応募がありました。

同コンクールにおいては、同じく放送学科4年の藤村純さんがテレビCM部門・銅賞、放送学科3年の服部祥子さんがラジオCM部門・奨励賞を受賞するなど、放送学科の学生が両部門の大賞を始め、多くの入賞を果たす快挙を成し遂げました。

森文美さんの受賞コメントや受賞作品はこちらでご覧いただけます。

<http://www.acc-cm.or.jp/student/2018result/>

### ■卒業生・川内有緒さんが開高健ノンフィクション賞を受賞

ノンフィクション作家の川内有緒(平成6年度卒)さんが、『空をゆく巨人』で第16回開高健ノンフィクシ

ン賞を受賞しました。  
この作品は、中国福建省生まれの現代美術家・蔡國強さんと福島県いわき市の会社経営者・志賀忠重さんの

30年にわたる類い稀な友情と、豪快な生き方、そして二人三脚で生み出してきたアート作品に迫ったものです。

川内さんは2013年にも『バウルを探して 地球の片隅に伝わる秘密の歌』で第33回新田次郎文学賞を受賞されています。

## デザインブロック



### ■日本タイポグラフィ年鑑2019 学生部門にて入選

NPO法人 日本タイポグラフィ協会が主催するコンペティション「日本タイポグラフィ年鑑2019」にてデザイン学科学生6名が入選しました。そして、2019年4月にパイインターナショナルから発行される「日本タイポグラフィ年鑑2019」に作品が掲載されました。

デザイン学科3年

広川 亜加梨 「雨」

竹下 由桂 「昭和文字と今年の流行語」

デザイン学科2年

宮寺 芽生 「ぎょろばち めだまフォント」

長谷川 沙恵 「木モチフォント」

藤巻 菜々子 「遊角体」

姜 佳瑤 「連延体」

### ■ACC学生CMコンクールにて岩崎真也さんが大賞受賞

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟(ACC)は、全国の学生を対象にACC学生CMコンクールを実施しています。

2018年度は7月2日～8月17日の間に作品受付を実施。全国から2,460作品(テレビCM:1,876作品/ラジオCM:584作品)の応募がありました。

その中から岩崎真也さん(3年)が見事、テレビCM部門にて大賞を受賞

しました。

協賛広告/テーマ商品: ライオン/  
トップ スーパーNANOX

題名:忍び

秒数:15秒

### ■順天堂大学医学部付属練馬病院の 小児病棟待合室の壁面を学生がデザインしました

デザインを担当したのは、後藤亨至さん(4年)。これは順天堂大学医学部付属病院からの依頼で実現したものです。後藤さんの原画をカットイングシートで壁面にデザインしたもので、病院で待つ子供たちの不安な気持ちを少しでも和らげるものとして設置されました。

### ■銀座・和光のバレンタインディスプレイが展示されました

今年もデザイン学科の学生がデザインプロジェクトⅡの授業課題で、銀座・和光アネックスのディスプレイデザインを担当し下記のとおり展示されました。

デザイン: 袴田栞太さん、佐々木美桜さん、小西麻友さん、A.Bryant Wutchさん(すべて3年)

テーマ:「Discovery」

場所:銀座アネックス館

期間:2019年1月17日～2月14日



### ■毎日広告デザイン賞にてデザイン 学科生が学生賞を受賞

第86回毎日広告デザイン賞(主催:毎日新聞社)にて田中紅緒さん(3年)が学生賞を受賞しました。同賞は新聞広告の更なる発展を目指し、一般クリエイターと学生が指定の課題を制作するというもの。田中紅緒さんは「Q&Pコーワドリンク」の新聞広告の制作に取り組み、見事入賞を果たしました。4月25日に表彰式が行われ、賞牌と賞金が贈られました。

### ■デザイン学科の卒業生と学生との 交流会を開催

恒例となっている同交流会(通称:ホームカミング・デー)が3月16日(土)に江古田校舎の学食にて大勢の卒業生を迎え盛大に行われました。これは卒業制作展「日藝の卒博」の開催に合わせ、その期間中に毎年開催されているものです。OB・OGとの交流を通じ、学生の就職等の進路検討に資することを目的に開催されるようになり、今年で7回目を迎えました。卒業生にも大分周知されるようになり、卒業生の参加者は70名を越えるまでになりました。軽い食事と飲み物を取りながら、世代を越えた交流の輪があらこちらにできていました。



## 校友会からのお知らせ

### ■校友会副会長が3名から5名になりました

校友会活動は、以前と比較して学生支援のプロジェクトや課題も多く、副会長3名では不測の事態に対応しきれない状況でした。業務の安定化のため、副会長の増員可能な体制のための会則改定が昨年の総会において可決承認されました。

現在の副会長は下記5名になります。

#### 副会長

原 一平(演48年度卒)新  
萩原伸之(放57年度卒)新  
高橋則英(写52年度卒)  
佐々木義朗(放53年度卒)  
田中光子(写53年度卒)

### ■【学生支援活動】校友会クリスマスプレゼント企画“学食deクリスマス”開催

平成29年度に開催して好評だった“学食deクリスマス”を今回は平成30年度で閉講する所沢校舎の学食にて平成30年12月13,14日に開催し、ケーキ144個を無料で学生に配布しました。



### ■校友会ツイッターアカウント開設しました

校友会からのお知らせや日芸の情報を発信致しますのでぜひフォローしてください。

日本大学芸術学部校友会ツイッターアカウント名:

@NU\_ART\_ALUMNI

### ■今年度で芸術学部校友会は70周年を迎えました

校友会報を次号103号よりリニューアルいたします。

新しい校友会報を是非お楽しみに!

### ～校友会事務局より お知らせ～

住所等変更のお手続きはメールでも受け付けております。  
お名前、卒業学科、卒業年度をご明記のうえ、下記校友会事務局までご連絡ください。

ekoda.koyu@gmail.com

校友会事務局 星野

#### お悔やみ

芸術学部校友会顧問(元会長)の佐々木照男さん(写真29年度卒)が平成30年11月15日に逝去されました。

第8代芸術学部校友会会長として校友会の発展にご尽力を頂いておりました。

故人のご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。

### 編 集 後 記

昨年12月22日におこなわれた「ありがとう所沢キャンパス」は、予想を上回る校友の訪問を受け、盛況のうちに閉幕しました。思い出の地、所沢での授業はもう終焉を迎え、いま卒博が開かれている裏で多くの機材が所沢から引越してきています。(青木)

## 8つのアート1つのハート



## 日本大学芸術学部

日本大学芸術学部校友会報 第102号

2019年春季号 ● 令和元年6月発行 ●

● 編集人 会報編集委員会

● 発行人 田上 竣詞

● 広報担当 西垣仁美 鳥山正晴 笹井祐子  
川上 央 青木敬士 原 一平  
茅原良平 長瀬浩明

● 発行所 日本大学芸術学部校友会  
東京都練馬区旭丘 2-42-1  
日本大学芸術学内  
電話 (03) 3554-5363  
事務担当 星野 祥子

● 印刷所 江戸クリエート株式会社  
東京都文京区本郷 3-43-16  
コア本郷ビル  
電話 03-3814-1225

非売品

不許可転載

● 表紙

平成30年度写真学科卒業制作  
氏名: 中古 樹  
タイトル: 『記憶の里』

8つのアート1つのハート

# 日本大学藝術学部

Photography/Cinema/FineArts/Music/LiteraryArts/Theatre/Broadcasting/Design

## ◆ 大学 院 芸 術 学 研 究 科 ◆

◇博士前期課程／文芸学専攻／映像芸術専攻／造形芸術専攻／音楽芸術専攻／舞台芸術専攻

◇博士後期課程／芸術専攻



8つのアート1つのハート

**N U**  
Nihon University College of Art  
**A r t**

日本大学藝術学部

<http://www.art.nihon-u.ac.jp/>

■ 江古田校舎 練馬区旭丘 2-42-1 TEL.03-5995-8282